

るための意欲などを培えるように、「知・徳・体」の調和のとれた児童生徒の育成に努め、「生きる力」を育む教育を推進します。

ICT教育

ソサエティ5.0 (Society5.0 ※2) 時代に生きる子どもたちにとって、教育におけるICT(情報通信技術)を基盤とした先端技術等の効果的な活用が求められています。このため、本町では、国が進める「GIGAスクール構想」の一人一台端末及び高速大容量の通信ネットワークを早期に整備し、より効果的なICT環境の実現を図ってきました。今後は、継続的に財源を確保し、子どもたちを誰一人取り残すことのない、個別最適化された学びを支援していきます。

防災教育

防災教育では、自他の命を大切に、主体的に行動できるとともに共助の意識を育てるため、防災に関する意識や技能の定着を図り、家庭や地域と連携した防災活動の充実を努め、地域ぐるみの防災教育を推進していきます。

聖火リレーの実施

昨年は、新型コロナウイルス感染症の拡大の影響により、オリンピック・パラリンピックの開催が1年延期され、これに伴い聖火リレーの延期も余儀なくされました。本町での聖火リレーは、本年5月17日の実施が決定されており、町内をオリンピックの聖火が駆け抜けることで、豪雨災害で被災された方やコロナ禍で閉塞感に満ちている地域に元気が出るよう、未来に向かって頑張る坂町を広くアピールしていきます。

国際交流・海外研修の実施

本年度は、昨年中止した中学生を対象とした海外研修を、新型コロナウイルスの感染状況を注視しながら再計画し、外国の文化や言語を学ぶとともに、ホームステイ体験、現地の人との交流を通じて、国際的な視野及び知識を身につけた幅広い活動ができる人材の育成を目指します。これまでの取り組みを活かし、「南加坂郷友会」との交流を継続していくとともに、日本人としてこれからの国際社会を生き抜いていくうえで大切な、自らの国

に誇りを持ち、郷土や国を愛する心を育てていきます。

また、メキシコビーチバレーボールチームがオリンピック本戦出場を決めた場合には、ベイサイドビーチ坂で実施される直前合宿を支援し、町民との国際的な交流を通じて他国の文化や習慣などについて理解を深めていきます。

6 産業活性化・観光振興による活気あるまちづくり

坂町の豊かな自然、歴史的・文化的な地域資源、地理的条件などを活かしたまちづくりを進めるとともに、人々が気軽に自然に接し体験できるように、観光・レクリエーション施設の整備と利用を促進していきます。

特産品の研究・開発

町木である梅の推奨とともに、本町の特色を活かし多くの人に愛される特産品の開発を進めていきます。

また、本町のムラサキ麦を原材料とした「広島Y〇Y〇ビール」は、新型コロナウイルス感染症の影響により、製造業者が廃業したため、新

な製造業者を探しているところであり、早急に生産体制を確保し、引き続き、原材料の確保に努めるなど、地域資源を通じて元気な坂町を目指していきます。

ベイサイドビーチ坂の賑わい創出

ベイサイドビーチ坂への物販施設については、年間を通じた賑わいの創出と交流人口、関係人口の増加を図るため、地元特産品の販売はもとより、海でのマリンスポーツ、ビーチスポーツや背後でのトレッキングの拠点として、町内外へ情報発信する本町のシンボリックな施設として整備します。

また、新型コロナウイルス感染症の拡大を契機とした新しい生活様式への対応として、物販施設内にテレワークをすることができるようスペースもあわせて整備します。

7 効率的な行財政運営を図るまちづくり

今日の地方公共団体においては、人口減少・高齢化の進行、行政需要の多様化など、

デジタル化へ向けて

国は、近年、先端技術を活用して経済発展と社会的課題の解決を目指すソサエティ5.0 (Society5.0) の実現に向けた取り組みを積極的に進めています。

本町においても、デジタル変革を通じた新しい地域と社会の構築を目指し、行政手続のオンライン化、人工知能(AI※3)、業務自動化システム(RPA※4)の活用、システムの標準化、セキュリティ対策等の基盤整備などについてデジタル化を進めていきます。

また、年金・福祉・医療・税等の申請手続きや各種証明書のワンストップ化を図るため、マイナンバーカードの交付を推進し、町民の方々にとって利便性の高い社会生活を目指していきます。

坂うめじろうPR活動

マスコットキャラクター

学校教育

「礼節」を基本とした教育の推進

一人一人の子供たちが、自らを律しつつ他者と協調し、思いやりや感動する心を育みながら、「礼節」をわきまえた行為へと深めていく教育を推進します。

時と場所、場合に応じた適切な挨拶や言葉遣いのできる「礼儀」と、自分自身の立場をわきまえ、よく考えて行動し、生活することのできる「節度」を一体として捉え、全ての教育活動を通して取り組んでいきます。

確かな学力の向上

これからの社会を主体的・創造的に生き抜いていくために、児童生徒一人一人に基礎的・基本的な内容の定着を図り、自ら学び、自ら考え、主体的に判断・行動し、よりよく問題を解決する資質や能力を育成します。

育成に当たっては、「主体的・対話的で深い学び」の視点に立った授業改善を進めるとともに、個に応じたきめ細かな指導に努め、個別最適化

「坂 うめじろう」を町内外の各種イベントに出演させるとともに、キャラクターグッズを活用したPRに努め、本町を多くの人に知ってもらうための取り組みを行っていきます。



おわりに

令和3年度の施政方針の大纲を申し上げましたが、平成30年7月豪雨災害からの一日も早い生活再建、復旧・復興を必ずや成し遂げるために、高い次元の志を持って取り組むとともに、未来に向け、希望を抱ける行財政運営を行いたいと考えています。

町政の基本理念は、町民一人一人が健康に恵まれ、安全で快適な生活環境の中で、活力と生きがいのある生活を営むことができる地域社会を形成することであると私は考えています。

このような社会を実現するため、町民の皆様をはじめ、各方面からのご意見に耳を傾け、何を求めておられるかを的確に判断し、その実現のため、今後あらゆる創意と工夫

のもとに、地に足が着いた施策を着実に推進してまいるのであります。

議会の皆様をはじめ、町民の皆様のご理解とご協力を賜りますよう、よろしくお願ひ申し上げます。

※1 テレワーク・情報通信技術(ICT)を活用し、時間や場所の制約を受けずに、柔軟に働く形態。

※2 ソサエティ5.0

(Society5.0)：サイバー空間(仮想空間)とフィジカル空間(現実空間)を高度に融合させたシステムにより、経済発展と社会的課題の解決を両立する、人間中心の社会(Society)を我が国が目指すべき未来社会の姿として提唱された。(内閣府)

※3 人工知能(AI)：言語の理解や推論、問題解決などの知的行動を人間に変わってコンピュータに行わせる技術。

※4 業務自動化システム(RPA)：人間がコンピュータを操作して行う作業を、ソフトウェアによる自動的な操作によって代替すること。

教育行政方針

はじめに

新型コロナウイルス感染症の世界的な流行で「予測困難な社会」が現実のものとなった今日、急激に変化する時代の中で、学校教育には一人一人の子供たちに、豊かな人生を切り拓き、持続可能な社会の創り手となるために必要な資質や能力を育成することが求められています。

国では、感染症の拡大に伴い「GIGAスクール構想」を加速させ、ICTがこれからの学校教育を支える基盤的なツールであることを前提に、今後の学校教育の在り方について検討されています。

坂町では「GIGAスクール構想」に基づく児童生徒1人1台のコンピュータと高速大容量の通信ネットワークを早期に整備していただいており、今後は充実したICT環境とICT機器を最大限に活用し、多様な子供たちを誰一人取り残すことなく、個別最適化された創造性を育む教育を推進していきます。

さらには、人生100年時代の到来、Society5.0(ソサエティ